

さっぽろオータムフェスト 2018 開催結果について

【大通会場】

開催期間	平成 30 年 9 月 15 日（土）～30 日（日） 16 日間 ※9 月 6 日（木）に発生した北海道胆振東部地震の影響により、当初の開催日（9 月 7 日（金））を延期して開催した。
開催時間	10：00 ～ 20：30（ラストオーダー20：00） ※9 月 18 日（月）～20 日（木）は地震の影響を受け、省エネに配慮し、12：00 ～ 19：30 で開催した。
会場	大通公園 1 丁目、4 丁目～8 丁目、10 丁目、11 丁目
来場者数	<u>1, 7 2 0, 0 0 0 人（前年比 84.6%）</u> （特別会場 2 7 7, 0 0 0 人を合わせると 1, 9 9 7, 0 0 0 人） 2, 0 3 2, 0 0 0 人（2017 年、23 日間）※特別会場除く（特別会場は 370,000 人） 2, 3 7 2, 0 0 0 人（2016 年、23 日間）※特別会場除く（特別会場は 75,000 人） 2, 2 0 3, 0 0 0 人（2015 年、24 日間）※特別会場除く（特別会場は 110,000 人）

総括コメント

今回で 11 回目の開催となった「さっぽろオータムフェスト 2018」は、9 月 6 日（木）未明に発生した北海道胆振東部地震に伴う停電等の影響により、当初の開催日（9 月 7 日（金））を延期し、9 月 15 日（土）からの 16 日間の開催となった。会期中は節電要請に配慮し、会場内に設置した発電機による電力のみを使用し、会場内では被災地復興支援のための募金活動を行った。

地震発生後、北海道・札幌の観光客が激減し、自粛ムードが漂い多数のイベントが中止される中、先陣を切ってさっぽろオータムフェストの開催を行ったことにより、復興に向けた動きを後押しできた。また、札幌市民にも多数来場していただき、出店者とともに例年の賑わいを取り戻すことができた。

その他

- ・会期中の休日（土・日・祝）は 8 日（昨年 8 日）と、会期が短いながらも祝日の曜日の並びにより休日が多かった。
- ・会期中の天候については、降雨を記録した日が 5 日（昨年は 11 日）であった。
- ・会期中の気温については、最高気温が 25 度以上の夏日が 3 日（昨年は 1 日）、最高気温が 20 度未満の日は 5 日（昨年は 5 日）であった。
- ・大通会場の全店舗で、電子マネー（WAON、nanaco、SAPICA、kitaca）を使用できるようにしたほか、大通会場内ではスマートフォンの QR コード決済「LINE Pay」を初めて導入し、来場者の利便性を高めた。

【特別会場 なまら鍋横丁 創成川ぞっくぞく会場】

開催期間	平成 30 年 9 月 15 日（土）～30 日（日） 16 日間 ※9 月 6 日（木）に発生した北海道胆振東部地震の影響により、9 月 7 日（金）～14 日（金）は開催中止とした。
開催時間	10：00 ～ 20：30（ラストオーダー20：00）
会場	創成川公園 狸二条広場
来場者数	<u>6 1, 0 0 0 人</u>
総括コメント	4 回目の実施となった創成川公園狸二条広場では、「北海道の鍋」をメインテーマに設定し、そのほか居酒屋メニューを含めてあたたかい料理を楽しんでいただける会場を目指した。

豊富な種類のお鍋や、食材や味付けをお客さまご自身で選べるオーダー鍋が目新しく、お客様の興味関心を引いた。また、会場中央には掘こたつ席を設置し、友人同士や子連れのファミリー層にもゆっくりとくつろげる空間が、多くのご来場者からご好評をいただき終日賑わいを見せた。

そのほか、横丁をイメージとした会場デザイン、そして、ユニークな暖簾や提灯などが特に観光客の方々に好評を得て、写真撮影をする場面が多く見受け添付られた。

会場では全ての電力を発電機による自家発電にて賄って実施した。

来場者数は、平日は 16:00～の営業に変更した事、また地震の影響なども含め合計値では昨年比で減少したが、会期中お客様の声から、当会場がオータムフェストの特別会場としての認知度が向上しているように感じられた。

【特別会場 オータムスイーツガーデン SAPPORO】
開催期間 平成 30 年 9 月 14 日（金）～24 日（月・祝） 11 日間
開催時間 11：00 ～ 18：00

会場 札幌市北 3 条広場「アカプラ」
来場者数 216,000人

総括コメント スイーツをコンセプトとする特別会場として昨年につき 2 回目の実施。さっぽろスイーツコンペティション 2018 グランプリ作品などのさっぽろスイーツや、札幌近郊の人気和洋菓子店などが出展。胆振東部地震による電力不足を踏まえ、会期の短縮も検討したが、自家発電と電源車両（日産リーフ）で必要な電力量を賄うめどがついたため予定通り実施した。

来場者数が 21 万 6 千人と初開催だった昨年の 30 万人から約 3 割減となった。地震の影響により札幌を訪れる観光客が減った影響と考えられる。